

▶「愛宕小学校区まちづくり協議会」とは？

愛宕小学校区で活動する自治会や育友会、消防団などのさまざまな団体や住民の皆さん同士が話し合い、チームとなって地域の様々な課題を解決するのが「愛宕小学校区まちづくり協議会」です。今後は、このまちづくり計画に基づいて、様々な活動を企画・実行していきます。

▶まちづくり計画ができるまで

愛宕小学校区では、小・中学生や子育て世代の方、高齢の方など、たくさんの方が集まって『よかまちつくろう！愛宕小学校区』を令和5年7月～令和6年9月にかけて開催し、まちの未来について話し合ってきました。人口減少や少子化・高齢化など社会の状況は変化しますが、これからも暮らしやすいまちであり続けるために、住民のみなさんの想いをカタチにしたものがこのまちづくり計画です。

めざす将来像に向かって、毎年必要な取り組みを考え、実現していけるよう、みんなで一緒に取り組んでいきましょう！なお、このまちづくり計画は、必要に応じて見直しを行っていきます。

第1回 令和5年7月9日(日)

「愛宕小学校区についてみんなで話そう！」

愛宕小学校区の“いいところ”や“心配なところ”について、自由に話し合いました

第2回 令和5年10月29日(日)

「どんなことができるか分野ごとに話そう！」

分野ごとに分かれて、現状・問題点、目指す姿、私たちにできることについて話し合いました

第3回・第4回 令和6年2月25日(日) 令和6年5月19日(日)

「まちあるきをして、

愛宕小学校区をもっと知ろう！」

愛宕小学校区のまちを歩き、いい所や魅力、地域の宝を発見し、共有しました

第5回 令和6年9月22日(日)

「まち全体の将来像を考えよう！」

愛宕小学校区全体の将来像を考え、まちづくり計画の案をみんなで確認しました

報告会 令和7年2月16日(日)

「まちづくり計画を共有しよう！」

完成したまちづくり計画の案をみんなに報告しました

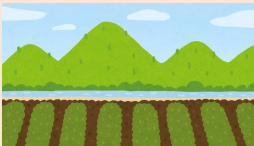


これまでご協力いただいた団体のみなさま

愛宕校区自治会連合会、白木自治会、愛宕団地自治会、愛宕県営住宅自治会、愛宕第二団地自治会、白木団地自治会、セラーリオコート自治会、セラーリオコート子ども会、田上町連合自治会、田上西部自治会、田上中部自治会、愛宕校区第一連合自治会、六本松自治会、田手原町自治会、早坂町自治会、田上南部自治会、弥生町自治会、愛宕3丁目自治会、社会福祉協議会愛宕団地支部、社会福祉協議会茂木支部、小島中学校区青少年育成協議会、小島中学校区青色パトロール隊、長崎地区保護司会中2分区、愛宕小学校区子どもを守るネットワーク、長崎市子ども会育成連合会(愛宕小学校区)、小島中学校PTA、愛宕小学校育成会、小島地区民生委員児童委員協議会、茂木地区民生委員児童委員協議会、小島中学校、愛宕小学校、小島・茂木地域包括支援センター、白木郵便局、六和会、五月会、長照寺保育園、消防団、彦山の森、へんちくりん、株式会社ENTOWAエフ・ステージ白木

愛宕小学校区 まちづくり計画



分野 【テーマ】	現状・課題		分野別の目指す将来像	目指す将来像を実現するための必要な取り組み	
				既存の取り組み	話し合いの場で出された意見（一部抜粋）
交流 あいさつ つながり 後継者 行事 自治会 情報発信	●挨拶してくれる ●挨拶や交流がない ●挨拶したら不審者と勘違いされた ●範囲が広く、子ども達や地域住民とのつながり、地域のつながりが薄い ●子どもから高齢者までの世代活動がない ●田上東部自治会の解散したため連合自治会に頼りしかない ●自治会の高齢化が進み、役員の後継者不足や、地域活動の担い手不足 ●まつりなどに子ども達も参加してほしいが、部活などで忙しい	●いくつかの地区が集まるイベントがない ●若手の関心がない（イベント等） ●イベントはあるが、高齢化で活動難 ●定年延長で自治会活動に参加できないことが心配 ●アパートに住んでいる人がわからない ●自治会に入る人が少なく、高齢者は退会する ●自治会の必要性が伝わっておらず、大変というイメージがある ●世帯数増えている（田手原、じゅうろう） ●自治会の活動をもっとアピールしたほうがいい ●子ども達の意見を聞いてみたい	●幅広い世代が活躍できるまち（今ある人材も大切に、次の人材を育てる） ●愛宕小学校区すべての人が参加できる年間イベント作り ●大人も子どももつながりあって継承できる愛宕小学校区 	●お祭り(各地域) ●くんち(早坂、田上) ●運動会(田上連合自治会) ●ラジオ体操(白木団地・弥生町) ●長崎くんちみこし守(白木・弥生) ●精霊船流し ●入学式・卒業式 ●パワーUP教室勉強会(小学校) ●愛宕のじまんを見つけよう(小学校総合学習) ●朝のあいさつ運動(中学校) ●SNSでの自治会の情報発信 ●テルを利用した広報活動	●挨拶・イベントを通じて新しい顔見知りをつくる ●日頃からつながりづくり、地域での声掛けを行う。市民大清掃チャンス！ ●地域の人との関わりや交流の機会を増やす ●まず、なんでも参加する！ ●男性も総会等に参加し住民同士のつながりをもっと強化する ●多世代が交流できる場をつくる ●コミュニティに若手が参加して、巻き込める体制をつくる ●定期的に集まれるコミュニティの場をつくる ●班長など役員の負担も減らす ●複数の地区が集まるイベントを考案する(様々な世代が集まれる) ●3校合同イベント計画(卒業記念もちつき大会) ●子ども会議をする(どんなイベントをしたいか聞く) ●日程を若手も参加しやすいように工夫、柔軟に！ ●まつりを開催して若手に参加してもらう ●地域活動を企業にも手伝ってもらう ●イルミネーション(冬) ●もちつき大会 ●夏祭りを復活(夏) ●夏祭りの内容を見直す ●自治会の枠を超えての取り組みが必要 ●自治会の規模やあり方を見直して活動 ●ひとりひとりが地域の一員という自覚をもつ ●自治会の必要性を学校の課外授業で行う ●自治会は楽しいというイメージに変えよう！ ●中学生にも自治会活動に参加してもらう ●SNS等を利用し自治会や地域イベントの広報を行う。 ●情報の取り方の勉強会を持つ(インターネット) ●子どもがインターネットの使い方を教え、高齢者は生活に必要な知恵を子供たちに教える交流の場をつくる ●地域のチラシを学校で配布する(学校の掲示板に貼る) ●小学校経由で子ども達にも地域活動に参加するよう促す 
防犯・防災 防犯 防災 空き家 道路・交通	●不審者が出る ●防犯カメラを設置申請している ●中学生は防犯ブザーを持っており、安全には気を付けている ●空き家が増えている ●外灯をつけない家が多いため、道が暗い ●街灯の数が少なく、設置間隔が広い ●防災・避難・救急訓練が必要。 ●避難場所の見直し ●無線が聞こえない ●ゲリラ豪雨など、土砂崩れが危ない地域あり ●風や雨の時、木が倒れてきて危ない ●消防ホース等すぐに使える施設・人がいないのでは？	●消防団員が不足している ●高齢者の方が避難スムーズにできるように ●倒木やハチなど民有地での問題がスムーズに解決しない ●山林に囲まれている(所有者不明) ●通学路等の道路が狭く、通学時や駐車時危ない ●道路が狭くてゴミステーションのネットが設置できない ●愛宕小へのぼる階段の踏み幅がせまくて急 ●カーブが多く、道幅も狭い道路に対して車のスピードが速くて危ない ●路肩がもろい所がある ●竹が通路に倒れてくる ●カーブミラーや道路に草木がかかり危ない 	●高齢者と子ども、地域の人達が協力して安心して住めるまちづくり ●事件・事故がない、子どもから高齢者まで安心して歩けるまちづくり ●安心・安全なまちづくり 	●防火夜廻り(弥生町) ●防災訓練(愛宕校区) ●災害時の備蓄(郵便局) 	●情報発信と情報の共有(道路の危ない所など) ●防災マップを活用する ●学校外等で起きた時など、もしもの時に備えて、防犯、防災、避難訓練を行う ●困ったときの相談先リスト化 ●自分の身は自分で守る！ ●お互い助け合っていく ●可能な範囲で木の伐採や雑草刈りを行い、整備する 
環境 自然 鳥獣対策 暮らし 利便性(交通・店)	●地域猫の拡大が心配 ●野良ネコへのエサやりや、フン尿問題がある ●イノシシが出る範囲が広く、散歩している人が被害にあう可能性がある ●ゴミの分別がされていないところがある ●ゴミを指定日に出していないところがある ●マスクやタバコ等のゴミのポイ捨てがある ●ゴミを他地区から車でもってきて捨てる ●用水路にゴミ等がつまりあふれている所がある 	●ゴミステーションに入っていないゴミをカラスが荒らし、散らかっている(生ゴミを道路の真ん中に置く) ●バスの便が減って困っている ●最終バスの後若い子たちが「車のせて」と言う ●まちには近いが、身近な所にお店がなく、免許返納後の買い物不安 ●静かで夏は涼しく、暮らしやすい ●ガolinスタンドがない ●自販機が少ない 	●安心・安全な(事故・ゴミがない)きれいなまち ●みんなが住みつけられる地域環境を子ども達に残せるまち ●人と猫が安心して生活できる、動物と共存できるまちづくり	●地域ネコをお世話する人の募集(白木) ●イノシシ対策(田上南部、六本松) ●川の清掃活動 ●公園の清掃(自治会、老人会、子供会、婦人部) ●地域のゴミ拾い・清掃(白木、エフ・ステージ) ●リサイクル推進員によるゴミの分別(六本松) ●資源ゴミを分別し売却して自治会費へ(六本松) ●資源物回収(田手原) ●宅配サービスの利用 ●自販機の設置(へんちくりん)	●猫にエサをやる人がフン等の管理 ●地域ネコ活動に取り組む ●イノシシ情報をつくり、公開する ●地域でゴミ捨てルールやマナーを共有して指摘、注意する ●子ども達でゴミ拾いをする ●市民大清掃を年に1・2回したい ●みんなで年に何回か道路清掃する ●公民館の敷地に移動販売を呼ぶ ●休耕地の活用ができないか   
福祉 少子高齢化 高齢者 子ども、子育て 遊び場 健康づくり	●高齢者は増え、若い人や子どもが就職・進学等で出ていき少なくなっている ●子供会の人数が少なくなることで、保護者の負担が増える ●老人会や、子供会などが減り、解散が続いている ●孤立化(プライバシー) ●地域に出てこない高齢者が心配 ●集まりに行かない、行けない高齢者が多い ●認知機能低下、下半身不自由な人多い ●在宅介護、老老介護という現状がある ●民生委員のなり手が少ない(後任探しの問題がある) ●地域全体で高齢者・子どもを見守るしくみづくりが必要	●民生委員として高齢者を見守っている ●PTAのなり手不足 ●今のお母さんたちは働いていて忙しい ●行事や活動負担を軽くしたほうがいい ●青年部があればいいのに… ●コミュニティの数が多すぎるのでは？町単位で考えていくのはどうか ●下校時の見守り体制が不安 ●子どもが遊ぶ場がない ●遊び場はあるけど遊ぶところが狭い(ボールが林にいつてしまう) ●いろいろな規則があって好きに遊べない(花火禁止等) ●小学校のグラウンドで散歩などできなくなった	●縁側コミュニティで開放する場をつくる ●幅広い年齢層の方がお互いに関わり助け合い楽しく過ごせるまち ●0歳から100歳まで地域に根付くまち 	●たがみなごみサロン ●高齢者サロン(白木) ●老人会のあつまり(白木) ●敬老会(各自治会) ●見守り、包括でサロンの紹介(民生委員) ●友愛訪問(民生委員) ●ささえあいネットワーク(社協支部) ●にこにこ教室(愛宕小) ●親と子のレクリエーション(愛宕小) ●健康ウォーキング(愛宕校区自治会連合会、田上西部)	●小さいころから子供会の行事に参加し、大人になっても覚える ●孤立化している方を見守り、関わり(知人等の連絡先把握) ●縁側にあつまってお茶会する ●高齢者にサロン等に出てくるように誘う ●宣伝も難しい→サロン、老人会が少なくなってきた ●小中の子供会など、既存の組織を統合する ●子ども会少→親をまきこむ+色々な地区の子との交流必要 ●小さい組織やコミュニティを発見し、地域でも活動してもらう(人財の発見) ●青年部の立ち上げ ●施設に関わっているボランティアさん等を見つけ、協力してもらう ●今している活動や仕事を続けていく ●交通安全週間に立哨活動を行う ●集団下校をする(ウォーキング者と協力して一緒のルートを歩いてもらう) ●見守り活動を行う(下校時間等に犬の散歩や健康づくりにあわせて) ●大きい公園をつくってほしい ●ウォーキングをする(歩くことで人と会える) 